
転生の時

『 』の深淵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生の時

【コード】

N8295U

【作者名】

『』の深淵

【あらすじ】

もし転生するならばの話

(前書き)

暇潰しにでも観てやって下さい。

気が付いたら辺り一面が真っ白なところに居た。

「ここはどこだ？」

俺は自分の部屋で寝ていたはずなんだが……………

夢か？いや、だがこうしてちゃんと冷静に思考できるのを思つと

違う可能性が高いな……………

「これ、お主じゃお主」

そうしていると後ろに何か異様に背が低い爺が居た。

ぶん……………

「お前は何で、此処は何処だ？」

「ふむ、お前は誰ではなく何と来たか、ワシは神で此処は神の間じゃ」

神ね……………

「その神とやらが一体俺に何の様だ？」

「ふむ、それがな、お主には転生して異世界に言っしてほしいのじゃよ」

「なぜ俺に？それにその理由は何だ？」

「おぬしを選んだのは偶然じゃよ、理由は娯楽のためじゃの」

「という事は何か力をくれるのか？」

「その通りじゃ、じゃないと面白く無いしの」

「どんな願いでも聞いてくれるのか？」

「ワシでは無理なこと以外なら何でも3つまで叶えよう、

しかしワシも楽しみたいからそれに沿う物でないといかんぞ」

「なら1つ目は俺の器、力の持てる許容量を限りなく上げてくれ、
2つ目はどんな物でも創造する力、3つ目は俺にありとあらゆる物の
障害を打ち破る力をくれ」

そう言うと爺が手を掲げると自身に何か強大な力が湧きあがってきて
何でも出来るというほどの全能感が溢れて来るが……………

「ふむ、いいじゃろ、近頃は力を与えた後はいきなりワシを殺そう
としたりする輩が
多くての、お主には好感が持てるぞ」

そういう神からは先程までには無かった膨大なまでの力が感じられ
る……………

「ふん、自身に異様なまでの力を軽く与えられる存在が弱いわけな
いだろ、
そんな事をする自身の分をわきまえない奴と一緒にしないでくれ」

そう、俺は奴らの様な貧弱な考え無しとは違う……………

「それは悪かったの、ではお主を異世界に送らせてもらっぞい、
達者でやってくれ、そしてわしを楽しませてくれよ」

「ああ、神とやらも達者でな、汝に幸多からん事を」

「ふむ、おらばいせ、　　よ」

.....そして俺は異世界へと旅立ったのだった

(後書き)

いやあ普通娯楽如きに自分を殺せるほどの力を与えるわけがありませんよ〜、まあこれはそついう話wwww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8295u/>

転生の時

2011年10月7日23時38分発行